学校番号	2101

令和８年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	「MOUSA１」（教育芸術社出版）						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を学習します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	「歌唱」 日本のポップス ・翼をください ・負けないで ・見上げてごらん夜の星を 日本歌曲 ・花 ・この道 ・夏の思い出 ・虫のこえ ・冬景色 ・故郷	・基礎的な発声法や発音の仕方を身につける。 ・歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素に着目して演奏する。 ・日本語の美しい語感に着目して演奏する。	a: 表現したいことを伝えるための歌唱技能を身につけている。 b: 歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素の働きを感じて表現を工夫している。 c: 歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素とのかかわりに興味・関心をもっている。	演奏の聴取 観察 実技テスト	演奏の聴取 観察 実技テスト	ワークシート 授業への取り組み

	「リズム・アンサンブル」 ボディー・パーカッション ・Plymouth Rock ・ Clap, Tap with CUPS!	・ボディー・パーカッションや身近にあるコップなどを用いたリズム表現を通して音色や奏法、表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する喜びを味わう。	a: 曲想と手拍子や足踏み，コップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解している。 b: 音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取 観察 実技テスト	演奏の聴取 観察 実技テスト	ワークシート 授業への取り組み
	「器楽」 ギター ・日曜日よりの使者 ・第三の男のテーマ	・基礎的な奏法を身につける。 ・常に音色を意識し、曲想を生かして演奏を工夫する。	a: 音色を意識し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 b: 曲想を生かして主体的に表現を工夫している。 c: 楽曲にふさわしい音色を考え表現することに興味・関心をもっている。	演奏の聴取 観察 実技テスト	演奏の聴取 観察 実技テスト	ワークシート 授業への取り組み

	「創作」 ・オノマトペでリズム ・アンサンブルをつうろう	・創作の活動に関心をもち、意欲的・主体的に取り組む。 ・創作表現の技能を身につける。	a：音色を意識し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 b：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受して旋律を創作をしようとしている。 c：音楽を形づくっている要素に関心をもち、意欲的に創作しようとしている。	ワークシート 演奏の聴取 観察 実技テスト	ワークシート 演奏の聴取 観察 実技テスト	ワークシート 授業への取り組み
後半	「歌唱」 ドイツ歌曲 ・Heidenröslein ヴェルナー作曲 シューベルト作曲 イタリア歌曲 ・'O sole mio ミュージカルナンバー（英語） ・Memory	・さまざまな言語による歌曲に親しみ、それぞれの特徴を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、表現を工夫 して独唱する。	a：曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 b：音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c：曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取 観察 実技テスト	ワークシート 演奏の聴取 観察 実技テスト	ワークシート 授業への取り組み

	「日本の伝統音楽」 箏 ・≪さくら≫変奏曲	・楽器に親しみ、その音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身に付け、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、表現を工夫して演奏する。	a：音色を意識し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 b：曲想を生かして主体的に表現を工夫している。 c：楽曲にふさわしい音色を考え表現することに興味・関心をもっている。	ワーク シート 演奏の 聴取 観察 実技 テスト	ワーク シート 演奏の 聴取 観察 実技 テスト	ワーク シート 授業への取り組み

	能や謡に親しもう 「歌唱」 ・能≪高砂≫から ・能≪羽衣≫から 「鑑賞」 ・能≪道明寺≫	・実際に謡を体験して能の音楽の特徴を理解するとともに、能の魅力を味わう。	a：謡（ツヨ吟，ヨワ吟）の曲想と音楽の構造や詞章、文化的・歴史的背景との関わり及び謡の言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 能の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している 。 b：音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように謡うかについて表現意図をもっている。 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c：謡の曲想と音楽の構造や詞章、文化的・歴史的背景との関わり及び謡の言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 能の音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取 観察 実技テスト	ワークシート 演奏の聴取 観察 実技テスト	ワークシート 授業への取り組み

	「鑑賞」 ・オペラ『カルメン』 ・動物の謝肉祭	・人間の生活と音楽の関わりに着目しながら、楽曲の歴史的背景や時代の特徴を感じ取る。 ・演奏形態や歴史・時代の背景、音楽の諸要素を根拠として、音楽の良さを感受し、言葉で表す。	a: 聴き取ったことと感じ取ったことを結びつけて、楽曲の特徴を言葉で表している。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c: 時代の変化における音楽の特徴に、興味・関心をもち、積極的に感じ取っている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度